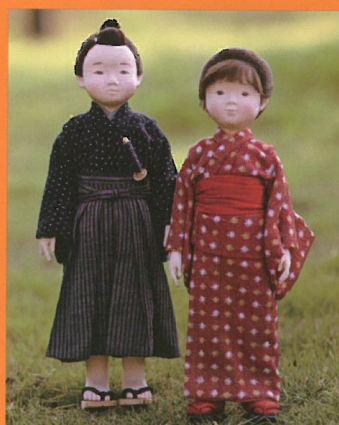


子規・漱石・極堂 生誕150年記念

平成三十年新春特別展

創作人形展

森川真紀子と子規の世界



会期：平成29年12月21日(木)～平成30年1月31日(水)
会場：松山市立子規記念博物館 3階特別展示室

休館日：平成29年12月26日、平成30年1月9日、16日、23日、30日(いずれも火曜日)

開館時間：午前9時～午後5時(展示室入場は午後4時30分まで)

学芸員と人形作家によるギャラリートーク

【日時】平成30年1月13日(土)、27日(土)ともに午前10時30分より50分程度

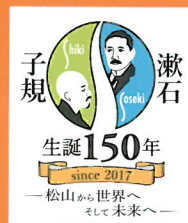
【会場】3階特別展示室

※一部常設展示室に展示している人形もあります(常設展示室観覧料 個人400円 団体320円)

松山市立子規記念博物館 〒790-0857 松山市道後公園1-30 TEL 089-931-5566 FAX 089-934-3416

指定管理者：株式会社レスパスコポレーション <http://sikihaku.lesp.co.jp/>

入場
無料



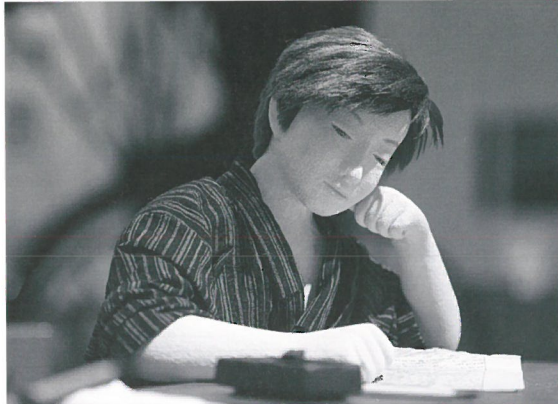
子規記念博物館では、平成二十九年四月の常設展示室のリニューアルで、子規の人生の節目となる場面を人形で表現し、分かりやすくイメージしやすい展示表現を試みました。

展示している人形は、松山在住の創作人形作家・森川真紀子氏が制作したものです。森川真紀子氏は、松山の歴史・文学に強い愛着を持ち、それらを題材とした人形の創作活動に長年取り組まれています。森川真紀子氏の人形は、手や足、髪の毛などの細部まで精巧に作りこまれ、その表情はまるで生きているかのようにであり、見る人を魅了するものです。

今回の特別展では、新作の人形「旅姿の子規」をはじめとして、常設展示室に展示している子規の人形について、人形制作の際に参考にした資料を展示し、また、人形の制作過程や制作の裏側に迫るエピソードなどを紹介します。あわせて、森川真紀子氏がこれまでに制作されてきた松山の歴史・文学にゆかりの深い人形作品など、五十体以上を展示し、松山の歴史・文化をより身近に感じ、体験する機会とします。



ユニフォーム姿の正岡子規



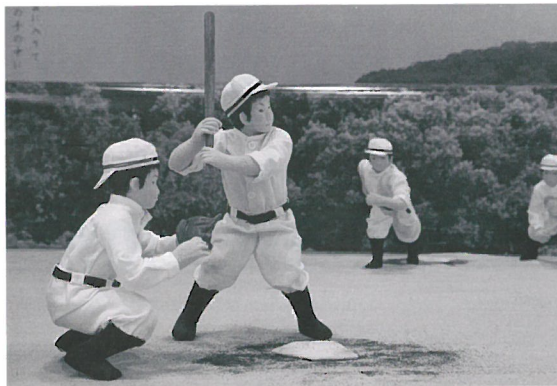
勉学(秋山真之)



坊っちゃん仲間たち



演説をする正岡子規



やろうぞなベースボール



もりかわ ま き こ
創作人形作家 **森川真紀子**

松山市在住。人形教室『Makiko Doll 夢時間』主宰。愛媛新聞カルチャースクール講師。手芸作家・成田敬子、人形作家・高橋満利子などに師事。子規記念博物館や坂の上の雲ミュージアムで、様々なシーンの子規を表現した人形を制作・展示。

